

政治運動に關する方針

總聯合の政治運動の方針とするところのものを短的に示せば左の四項である。

- 一、國家を尊重し、國情に即して運動するもの
- 二、資本主義打倒をその政治的目標とせるもの
- 三、社會主義統制經濟を實現し搾取の廢絶を期するもの
- 四、労働組合の政治的要求を遂行し、組合の拡大強化に役立つもの

而して最近經濟界の状況を呈せるにも拘らず、それがむしろ凶子と存して益々資本主義の没落を早めつゝある時、殊に政治的危機が次第に深刻化して行く現下の状態の下に、資本主義粉砕を最高の要件として新生する政黨は、當然に革命的な政黨でなければならぬのである。而して國家を尊重するといふ第一項で共產黨でない事は明らかである。而して第二項、第三項の資本主義制度粉砕、社會主義實現によつてフアンキストでないことも明らかである。然らば第四項を強力に主張することによつて社會

主義を義政であるかと問はれるならば我々は明かに否と答へる。

何故ならば我々は勿論第四項を要求する。しかし今日の如く次第に迫り来る政治的、經濟的の状勢の下に、我々が政黨に望むところは單に労働立法の制定のみではない、更に資本主義粉砕の一次政治的決戦を望んでゐるのである。労働組合の行く方はどこまでも労働者の當面の生活を豊饒にすることに只管努力する。それは經濟的は實の方針であつて改良主義的傾向を多分に持つものである。

然し今日労働者の要求する政黨は、資本主義の改良政策では満足しないものである。また議會主義的社會民主主義的な主張を以つてしては満足しないのである。日本の人口問題を免よ、日本の軍事上の立場を免よ、農村の窮乏と失業等の事實を免よ、不況、日滿經濟プロットの如何なるものとなり行くか、我々は日本を救ひ、日本の労働者と解放する道は資本主義制度の根柢から解放することではなればならぬ。あつても客觀的狀勢は資本主義粉砕に進むべく示されてゐる。従つて党は革命的要素を多分に持つものでなければならぬ。